

うみ・なかま コミュニケーション

北海道ぎょれん広報誌

なみまるくん

No.453

7
2026



特集

第64回 北海道漁業協同組合長会議
第77回 ギョレン通常総会

北海道を代表
する食のプロフェッ
ショナルに、本道沿岸で獲
れる魚をテーマとした
コラムをご寄稿頂き
ます。



すけとうだらで 満たす、魚愛

今年もまた夏がやってきました。年々、暑い時季の始まりと終わりが間延びして、「春が少し、夏、秋が少し、冬」。そんな、夏ばかりが居座る四季に感じられるこの頃です。皆さんは暑さに負けず、元氣にお過ごしでしょうか。夏バテを防ぐには、まずはしっかりと食べて、栄養素をきちんと補っておくことが何より大切です。私が非常勤講師を務める調理師専門学校では、お昼に給食が提供されます。これが学校での楽しみのひとつ。パエリアにガパオライスなど、メニューは実にバラエティ豊かで、毎回どんな料理に出会えるか心が弾みます。

先日いただいたのは「ホキのチリソース」。ホキ？ホッキ？と一瞬とまどい、「あつ！」と記憶がよみがえりました。かつて高齢者施設に勤めていた頃、フライにして使っていた、あの魚です。

ホキはタラ目の深海魚で、ニュージールランドやオーストラリアの近海に生息する白身魚です。クセのない淡白な味わいで、ハンバーガーのフィッシュフライやお弁当の白身フライでおなじみ、といえば、ぐつと身近に感じられるかもしれません。給食の「ホキのチリソース」は、卵白の衣でサクッと揚げ、チリソースをまとわせた一品。これがおしく、ペロリといただ

きました。実はその頃、忙しくて魚を口にする機会が減り、魚に飢えていたこともあつて、それもおもしろさを引き立てるスパイスになっていた気がします。

私は週に何度か魚を食べないと、まるで禁断症状のように無性に魚が恋しくなってしまうのです。これはおそらく、栄養学から見た魚の優秀さ、体に与えてくれる働きを知っているからでしょう。

このホキを口にして思い浮かんだのが、北海道で水揚げされる「すけとうだら」です。ホキと同じタラ目の白身魚で、すり身はかまぼこやちくわに、卵巣はたらこや明太子にと姿を変えます。気づけば毎日のようにどこかで口に入っている、北海道が誇る身近な魚です。

たんぱく質は朝・昼・夕の三食に分けて補うことが大切ですが、なかでも魚から摂る回数を増やすことは、心身にうれしい働きが期待できるといわれます。すけとうだらはアミノ酸バランスにすぐれた良質なたんぱく質をたっぷり含み、しかも低脂肪・低カロリーなのも魅力です。

給食のホキから、思いがけず北海道の海の恵みへ。次はふりつと揚げたすけとうだらのフライで、しっかりと「魚補給」といきましよう。

うえさか
上坂マチコ
食と栄養のサポートColan代表
／管理栄養士／料理家／webライター
テレビ出演、新聞雑誌などでコ
ラム連載や栄養監修、テレビ・ス
タイリングの提供などを行う。
講演会や食事指導、料理講師、短
大・専門学校非常勤講師など
活動は多岐。ぎょれんと共に昆
布や鮭の情報を広く発信。



- 01 マチコさんのおさかなコラム
「すけとうだらで満たす、魚愛」
- 02 特集1
第64回 北海道漁業協同組合長会議
- 06 特集2
第77回 ギョレン通常総会
- 08 なみまるインフォメーション
- 10 浜の家族物語
猿払村漁協／佐藤 零士さん ご家族
- 11 頭すっきり!! ブレイクタイム
- 12 大漁祈願！
浜のほっとニュース
- 13 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱



はまおに し べつ
猿払村漁協事務所に面する浜鬼志別漁港。春から秋にかけては、猿払村の基幹産業であるほたて漁に従事する漁船が多く停泊しており、「八尺」と呼ばれる海底のほたてを曳いて漁獲する巨大な漁具を備えているのが特徴です

◎表紙の写真

さとう れいじ
猿払村漁協／佐藤 零士さんご家族です



第64回 北海道漁業協同組合長会議



4つの決議案と特別決議案が原案通り承認、決議された、第64回北海道漁業協同組合長会議



ぎょれん 阿部会長



議長を務めた浜中漁協 山崎組合長と副議長を務めたえさん漁協 上見組合長

6月11日(木)、札幌市の第二水産ビル大会議室で「第64回北海道漁業協同組合長会議」が開催されました。会議では5月12日(火)の「北海道漁業協同組合長会議実行委員会」で審議された4つの決議案と特別決議として「中東情勢に対する漁業用燃油の安定的確保」が上程され、原案通り決議されました。ここでは、決議内容についてお伝えします。

第64回 決議（令和8年度）

激変する社会と海洋環境に対応した北海道漁業の構築

決議第1号

漁業経営基盤強化対策

1. 漁業収入安定対策における制度改善
 - (1) 漁業共済制度（漁獲・特定養殖共済）において、補償水準（共済限度額率）の引上げ、対象魚種の追加、漁業実態に即した柔軟な引受等の制度改善を図ること
 - (2) 漁業施設共済において、定置網に係る制度の抜本的見直しを図ること
 - (3) 積立ぶらすにおいて、資源管理目標達成のための休漁・減船等に対応した新たな所得補償対策の導入とともに、強度資源管理タイプの対象魚種（秋サケ等）を追加すること
 - (4) クロマガゴ口下止め特例廃止の影響を軽減すること

ための代替支援策の検討を推進すること

- (5) 漁業用燃油が高値で推移していることを踏まえ、漁業経営セーフティーネット構築事業における予算の確保とともに、国の負担割合の引き上げを図ること
- (6) 漁業用燃油に係る免税・還付措置の恒久化と漁業用ガソリンの免税化を図ること
- (7) 前浜の水揚げが減少した際の漁協に対する支援制度を創設し、経営の安定を図ること
- (8) 電気料金の高騰により製氷冷蔵庫等を有する漁協の経営が圧迫されていることから、自家発電施設・消費電力抑制に資する機器等導入への支援を行うこと
- (9) 漁協等が保有する施設について、不動産取得税や固定資産税の減免措置等による地方税からの支援を行うこと
- (10) 海洋環境の変化等に伴う不漁や自然災害の発生により、経営改善が困難となっている漁業者に対して、漁業近代化資金の法定償還期限を超える期限延長及び金融円滑化に資する漁業信用基金協会保証付き長期運転資金の融資措置を講じること
- (11) 漁業近代化資金について、漁船価格高騰等に応じた貸付限度額の引上げ、実耐用年数に見合った償還年数延長、漁業実態に即した漁船トン数制限見直し等の措置を講じること

2. 「新たな経営所得安定支援制度」の創設

- (1) 沿岸地域を支える漁業の担い手確保と我が国

における食料の安全保障の観点から、「魚価低迷により十分な操業・漁獲が困難となっている魚種（カレイ類）」や「長期に亘り海獣による漁業被害がある魚種」等、現行の収入安定対策が機能しない重要な漁業を底支えるため、出漁日数や投網回数に応じた操業手当やコスト割れ見合いの交付単価設定による農業の直接交付金制度に準じる支援制度を創設し更なる漁業経営の安定を図ること

3. 計画的設備投資の促進

- (1) 水産業成長産業化沿岸地域創出事業の予算を十分確保し、事業を基金化した上で、事業の対象に陸上施設を含めるなど補助対象の範囲を拡大すること

- (2) 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース事業）において、事業の継続と需要に対応した予算の確保を図ること

- (3) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業において、十分な予算の確保を図ること

- (4) 共同利用施設整備に不可欠である水産業強化支援事業等の十分な予算を確保すること

4. 担い手確保に向けた取組促進

- (1) 人口が減少する環境下、地域性や作業負担の大きさ等により漁業における人材確保が困難であることを踏まえ、新規漁業就業者や漁業後継者が定着するよう、着業に係る支援制度や漁業技術の向上などの育成支援体制の拡充を図ること

- (2) 新たに創設される育成就労制度において、産地市場で外国人材を漁協の職員として活用できるようにすること

- (3) 特定技能制度について、漁船漁業と養殖業の

区分の撤廃や漁協自営工場で漁獲物を加工する場合には漁業の延長線上の業務と見なす等、制度の改善や弾力的な運用を行うこと

- (4) 高齢漁業者が次世代へと円滑に事業承継が可能となるよう、個人版事業承継税制の対象資産に漁協への出資金とともに事業用に特定される貯金を含めること

5. 道産水産物の生産・加工・流通体制の整備促進

- (1) 道産水産物の魚価維持・流通安定・輸出事業拡大等の支援策の拡充を図るとともに、魚食普及活動への支援を拡充強化すること
- (2) 特定水産物供給平準化事業の継続・予算確保、並びに切れ目なく事業を活用するために基金事業化を図ること

決議第2号

資源増大対策

1. 栽培漁業の推進による水産資源の増大対策

- (1) 海洋環境の温暖化により主要魚種の漁獲が減少していることから、水産資源の回復・増大を図るため、増養殖事業・栽培漁業における種苗生産等の技術開発・育種や施設整備に必要な予算を最大限に確保するとともに、各浜において自ら取り組んでいる栽培漁業（ナマコ・カキ・アサリ・ウニ・ツブ等）への継続的かつ効果的な支援を行うこと

- (2) 秋サケについて、種苗生産体制の維持・安定を図るため、資源の減少要因の解析、孵化放流技術の研究強化等、実効ある資源回復措置を早急に講じるとともに、資源が回復するまでの間、国において孵化放流事業や施設整備に係る支援

を行うこと

- (3) ホタテについて、採苗不振や斃死の原因究明とともに、採苗等の生産技術の高度化と採苗設備導入に対する支援を講じること。また、ホタテを加工した後の貝殻が産地に山積していることから、処分に向けた対策を早急に講じること
- (4) 昆布について、天然資源の減少要因の原因究明と漁場の維持回復に向けた取組を推進するとともに、養殖昆布の種苗生産・育成管理技術の高度化や環境変化を踏まえた育種を進めること

2. 漁業実態に即した適切な資源管理

- (1) 新たな資源管理の推進にあたり、漁業者の理解・納得を得られない中での拙速な取り進めは絶対に行わず、各魚種の漁業実態に即した資源管理を行うこと
- (2) TAC管理を行うにあたり、各対象魚種における資源評価の精度、混獲への対応、捕食による他資源への影響などの課題の解決が図られる前に漁獲規制の段階に進まないこと
- (3) スルメイカは、単年性魚種であり資源評価が現実的に困難であることから、漁業経営等を勘案した漁獲枠の設定を行い、漁業現場を混乱させないこと
- (4) マダラ（北海道日本海・太平洋）については、生態の解明や捕食対象となる他資源への影響など、資源管理上の課題が解決するまでは、TAC管理における漁獲規制の段階へ進めないこと

- (5) ホッケ（道北系群）については、資源評価による将来予測が困難であり、TAC管理には適さないことから、道、道総研の指導のもと、資源の回復・安定に寄与している自主的資源管

理を発展させた「北海道スタイル」を基本とした管理を推進すること

(6) クロマグロの漁獲枠について、引き続き、漁業実態を踏まえた増枠となるよう取り組むとともに、沿岸漁業に対して手厚い配分を行うよう配慮すること。また、増加するクロマグロによるイカ釣り漁業における漁具被害の調査と支援を併せて行うこと

(7) TAC管理が導入される場合には、漁業者・漁協の経営への支援策も検討すること

(8) 外国漁船によるスルメイカ・サンマ等の回遊魚への過剰漁獲に対して、取締の強化や実効ある国際的資源管理の枠組を構築すること

3. 密漁・遊漁対策の推進

(1) 悪質巧妙化する組織的密漁の抑止のため、取締の強化と更なる罰則の強化（拘禁刑）・厳罰化を図るとともに、夜間遊泳・潜水に対する規制や届出制導入などの措置を講じること

(2) クロマグロや秋サケなどの遊漁者に対して安全性の観点から海上交通ルールの知識がないミニボートの航行規制や実効ある採捕規制等の措置を講じるとともに、自然・生活環境に影響を生じさせている沿岸でのサケ・マス釣りに対して公的な規制を設けること

決議第3号

漁場環境保全対策

1. 有害生物による漁業被害の対策

(1) 海獣による漁業被害の実態の把握に努めること

(2) 科学的見地から可能な限りトドの駆除頭数の拡大を図ること

(2) 河川海洋環境保全のため漁業者が実施するプラスチック製品の抑制、再利用、再資源化等の取組を推進するため、プラスチック漂着物の堆積量調査を実施するとともに廃網・FRPの廃船を効率よく低コストで処理が可能となる体制の構築を支援すること

(3) クリーンエネルギーへの産業構造の転換（GX）を推進し、北海道の沿岸海域を我が国の脱炭素エネルギー基地とした水素の普及拡大に取り組むとともに、水素や蓄電池を動力源とした漁船の実用化等を図ること

(4) 洋上風力発電について、施設の設置・稼働による水産資源への影響に対する精緻な調査を実施するとともに、一般の事業者撤退により漁業現場が混乱することのないよう、新たな枠組みに係る情報提供とともに関係者間の十分な協議を促進すること

5. 漁場の安全確保

(1) 日本近海における近隣諸国によるミサイル発射や軍事演習により、洋上の漁撈作業が危険に晒されていることから、国境監視対策の強化とともに全道を完全に網羅した無線局・漁船間の迅速な情報受信体制を整備すること

決議第4号

アルプス処理水対策

1. アルプス処理水放出終了までの国の責任補償

(1) 中国への水産物輸出の完全な再開に向けた取組を強化すること

(2) 新たな風評被害の防止に向け、道産水産物の安全性について、国内外への情報発信を継続すること

(3) 漁業者ハンターによる駆除に係る支援を拡大（ハンター料、傭船料、銃弾等）するとともに、ガバメントハンターの育成・確保などの対策を講じること

(4) 海獣被害対策としての強化刺し網については、漁獲への影響、操業効率、更にはコスト面等の問題から漁業における実装化が困難なことから被害を受けた漁網等の代替取得費用の支援を行うこと

(5) トド・アザラシ・オットセイ等海獣類による漁業被害に係る被害補償制度を創設すること

(6) トド等の海獣による食害や漁具被害の漁業への影響は依然として大きいことから、有害生物漁業被害防止総合対策事業において、十分な予算の確保とともに、切れ目ない事業の活用を可能とするため、事業の基金化を行い漁業経営の安定につなげる

また、シャチ・ラッコや重要資源でもあるサメ・フグ等も対象とするよう検討すること

(7) ホタテのザラボヤ被害の原因究明と対策の拡充・強化を図るとともに、ザラボヤ除去・処理に係る支援の拡充を図ること

2. 水産多面的機能の強化に向けた対策継続

(1) 水産多面的機能の強化に資する事業について、十分な予算を継続的に確保するとともに事業要件の緩和や事務手続きの簡略化を図ること

3. 自然災害・各種工事等に係る環境保全措置及び赤潮対策の強化

(1) 流木被害が発生した際に、漁協等の要請に応じて、行政が一元的窓口となった流木等漂着物の迅速な撤去体制を構築するとともに、流木捕捉工の設置等、流木の河川や海洋への流出未然

(3) 「水産物の輸出先多角化緊急支援事業」等の水産物需給対策の継続や「国内加工体制の強化対策事業」の実施により、道産水産物の国内外における消費・流通の安定を図ること

(4) 「同処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業」の拡充強化を図ること

(5) 同処理水の海洋放出に起因した浜値下落や輸出停滞などの漁業被害が完全に解消されない限り、期限を設けることなく、本道の漁業・流通の実態に即した賠償が確実に行われるよう東京電力への指導を徹底すること

特別決議

中東情勢に対する

漁業用燃油の安定的確保

1. 漁業用燃油の安定的確保

(1) 漁業用燃油の安定的な確保及び価格対策を図ること

2. 漁業資材の適正価格維持

(1) 漁業資材（魚函・漁網・ロープ等）及び加工用包装資材の適正な価格維持に向けた支援を行うこと

3. 操業自粛となった際の漁業経営への支援

(1) 漁業用燃油の不足に伴う操業自粛があった場合に、漁業収入対策事業等の弾力的運用を図ること

防止対策の更なる拡充強化を図ること

(2) 漂流漂着する海洋プラスチックごみ・流木等の漂着物の撤去のために、海岸漂着物処理推進法に係る十分な予算措置を図ること

(3) 台風や低気圧被害による漁業施設への被害や海岸護岸崩落に対し、補修や強化整備の早期実施や迅速な支援、海岸侵食保全措置を講じること

(4) 河川・湖沼改修工事、大型インフラ工事（新幹線トンネル・道路等）等に対する漁場環境への保全措置を講じること

(5) 農地崩落が発生した際の早期復旧体制を構築するとともに、農業・酪農系廃棄物の流出等に対する漁場環境への保全措置を講じること

(6) 船舶（外国船を含む）の座礁事故の未然防止対策並びに事故発生時の座礁船処理と流出した油を除去する体制の整備を図るとともに、漁業被害補償の枠組を構築すること

(7) ラピダス社の半導体製造工場の稼働にあたり、道と該社が締結した協定を踏まえ、取排水を行う河川への継続的なモニタリングの実施等により、沿岸水産資源への影響を生じさせないこと

(8) 令和3年度の北海道太平洋岸で発生した赤潮による漁業被害を踏まえ、モニタリングや予察手法の開発等の対策とともに、回復が充分ではないツブ資源の早期回復に向けた調査等への支援を継続・拡充強化すること

4. カーボンニュートラルに資する取組の推進

(1) ブルーカーボンの吸収量について、早期に公的取引制度へ位置付けるとともに、漁業者が実施するブルーカーボンの取組支援やクレジット制度の拡充を図ること

令和8年度

北海道漁協系統運動功労者表彰

〈代表理事組合長としての表彰〉

阿部 国雄さん

福島吉岡漁業協同組合 代表理事組合長

〈常勤役員としての表彰〉

吉田 茂樹さん

古宇郡漁業協同組合 専務理事

福澤 正美さん

えさん漁業協同組合 専務理事



左から阿部福島吉岡漁協組合長、吉田古宇郡漁協専務、福澤えさん漁協専務



議長を務めた石狩湾漁協 丹野組合長

北海道漁業の生産量は、「昆布」、「さんま」、「いか」など一部魚種において回復の兆しがみられたものの、これまで安定的に推移してきた「いわし」、「ほたて」の水揚げが伸び悩みをみせたほか、「秋鮭」が突発的な大不漁に見舞われるなど、8年ぶりに100万トンを下回る91万トンとなりました。

一方で生産額については、単価高により3年ぶりに3000億円の大台を超える3199億円となりました。しかしながら、担い手不足に加え、人件費や各種資材の価格の上昇も重なり、漁業経営のみならず、水産関連産業全体において、一段と厳しさを増している状況にあります。

阿部会長 挨拶

令和7年度の事業概況

次に、弊会の各事業について述べますと、販売事業につきましては、主要魚種である「秋鮭」や「ほたて」の減産を背景に末端製品の価格が急騰し、小売業態においては柔軟な販売戦略の構築が求められる状況となりました。一方、外食産業やデリバリー業態においては、令和7年の訪日外国人数が過去最高を記録するなどインバウンド需要の拡大も追い風となり、堅調な需要が継続しました。海外輸出については、中国による禁輸措置が長期化するなか、代替販路としてベトナムやタイをはじめとする各国での取扱を強化した結果、大きく回復をみせました。

購買事業につきましては、系統ブランド資材の開発や、廃網リサイクル等の環境対策を推進し、燃油に関しては全漁連を中心に系統利用による安定供給と共有タンクの整備を実施しました。

漁政対策につきましては、「将来に繋ぐ北海道漁業の構築2・0」をスローガンに、「海洋環境に対応した資源対策」、「漁業経営基盤の安定・強化のための対策」、「漁場環境を保全する対策」、「アルプス処理水の対策」などを重要課題と位置づけ、行政へ要請活動を展開しました。

また、指導教育活動については、漁協系統組織の基盤強化に向け、研修会等を通じ、協同組合理念の浸透に取り組んだほか、会員漁協へ法改正・税制改正に関する情報提供や、実務相談による経営指導に取り組みしました。

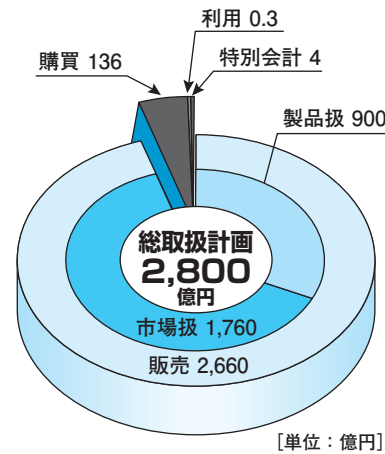
環境保全対策については、ラピダス社の半導体製造事業や、洋上風力開発に対する提言・要望を行いましたほか、流木や有害生物、家畜排せつ物流出、油流出といった被害・事故への対策や調査、

第64回北海道漁業協同組合長会議に引き続き、「第77回ぎょれん通常総会」が開催されました。総会では阿部会長の挨拶（次頁に掲載）に続いて、議長に選任された石狩湾漁協の丹野組合長進行のもと、①第77事業年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・注記表及び剰余金処分案について、②令和8年度〜12年度中期の事業推進方向及び令和8年度事業計画について、③令和8年度指導事業賦課金及び徴収方法について、④令和8年度借入金金の最高限度額について、⑤令和8年度理事及び監事の報酬について、の5議案、①第77事業年度連結財務諸表について、の報告事項1件が審議され、いずれも原案通り承認となりました。

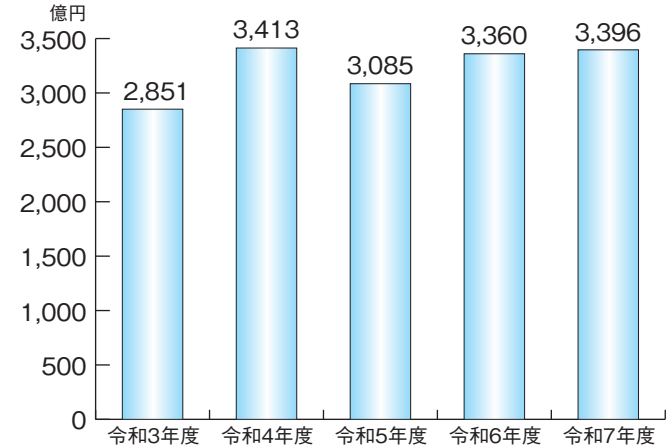


開会の挨拶をする阿部会長

令和8年度事業別取扱計画



総取扱高の推移



令和8年度の事業計画

次に事業計画の考え方について申し上げます。北海道漁業を取り巻く環境は依然として厳しさを増しており、その変化のスピードはかつてないものとなっております。これらの課題には将来を見据えた中長期的視点に立った取組を継続的かつ計画的に進めていくことが不可欠であります。

こうした認識のもと、次期中期の事業推進方向においては、従来の3年から、5年へと期間を変更し、より長期的かつ未来志向の計画体系とすること致しました。その中核として、2030年ぎょれんビジョン「守る・育てる・つなぐ」持続可能な未来を創る北海道漁業の実現」を掲げております。

また、先ほどの組合長会議で「激変する社会と海洋環境に対応した北海道漁業の構築」をスローガンに、5つの決議が採択されました。本会の組織力を結集し、これらの対策に総力を挙げて取り組んで参りますので、会員皆様の特段のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和8年度「全道なみまるグリーンアップ作戦」

第1回・渡島地区、第2回・根室地区、第3回・宗谷地区で清掃活動を実施

令和3年度より実施している全道なみまるグリーンアップ作戦。道内を10地区に分け、1年間に5会場の清掃活動を実施しています。今年度の活動も5月から順次展開し、5月15日(金)に渡島地区、5月17日(日)に根室地区と宗谷地区で開催しました。

今年度1回目となった渡島地区の活動では、今年9月に北斗市で実施される「第2回 北海道ゆたかな海づくり大会」とコラボし、戸井漁協の組合員や役職員、ぎょれん職員も合わせ総勢90名が参加。釜谷漁港周辺エリアを清掃し、1,360kgのごみを回収しました。

また、2回目となった根室地区の活動では、根室市のシーサイドグリーンプロジェクトと共催。根室漁協・歯舞漁協関係者協力のもと、根室海岸を516

名という大勢の方にご参加いただき、清掃活動を実施。1時間ほどの活動で2,310kgものごみを回収、ペットボトルが非常に多く散見されました。

そして、3回目となった宗谷地区では、猿払村漁協の組合員や役職員、ボランティアの村民など265名が集まり、オホーツクホタテロードの愛称で親しまれる国道238号線沿いの砂浜海岸で清掃活動を行い、籠やロープなど漁具をはじめ3,120kgものごみを収集し、地元の産廃処理業者に引き渡しました。今年度、残り2地区は日高地区(三石)、渡島地区(落部)を予定しており、以降も海洋プラスチックごみ問題に対する漁業者自身の手による具体的な取組として実施していきます。



渡島地区1回目は戸井漁協と共同で実施



茂みの陰には空き缶やコンビニ弁当の容器が多数見られました



根室地区は根室市のシーサイドグリーンプロジェクトと共催で実施



500名を超える方にご参加いただき、海岸に打ち寄せた漂着ごみも回収



宗谷地区は猿払村漁協と共同で実施



生活ごみに加え、大型の漁具も回収しました

道ぎょれん会 お取引先懇談会を開催しました

昨年を上回る177社・278名がご参加

5月28日(木)、ぎょれんが主催する「道ぎょれん会 お取引先懇談会」を札幌パークホテルで開催し、全国から177社・278名のお客様にご参加いただきました。

開会にあたり主催者を代表して阿部会長は、地域・魚種間の格差や少子高齢化、人口流出による労働力不足が水産加工業をはじめとした業界全体にとっても大きな課題となっているとしたうえで、「私どもにとって、全国の皆様に安定して北海道の水産物をお届けすることが大きな使命。引き続き、行政のお力添えも得ながら、生産回復に取り組み、安心、安全な生産物の安定供給実現に向けて努力をしてみたいと思いますので、よろしくご理解とご協力をお願い申し上げます」と挨拶しました。

続いて安田副会長から北海道漁業の現状や課題、ぎょれんが取り組んでいる脱・抑プラスチック運動やJブルークレジット®によるカーボン・オフセットなど、環境負荷低減への具体的な事例を皆さまに報告致しました。

また、その後会場を移して開会した懇親会では、



昨年を上回る多くの方にご参加いただきました



大都魚類(株)の播谷社長の乾杯の発声で開会した懇親会

北海道産水産物をふんだんに使った数々の料理が用意され、大いに交流を深めました。

※この度の道ぎょれん会取引先懇談会・懇親会につきましても、排出されたCO₂をJブルークレジット®の活用により全量オフセットしました

道漁青連が令和8年度 第1回地区会長会議を開催

任期満了に伴う役員改選など12事項について協議しました

北海道漁協青年部連絡協議会(道漁青連)は、6月6日(土)、札幌の第一水産ビルにおいて、令和8年度 第1回地区会長会議を開催し、令和7年度業務報告、令和8年度事業計画並びに収支予算案、第64回全道漁協青年部大会について、令和8年度全道ブロック別漁協青年部幹部研修会について、任期満了に伴う役員改選など、12事項について協議を行い、承認されました。今年度以降は新体制のもと、青年部活動の一層の推進を図っていきます。

新役員

会 長	尾崎 勇太(北見地区)
副会長	山森 昂(小樽地区)
	伊藤 大智(宗谷地区)
監 事	山本 章雄(渡島地区)
	築山 享平(日高地区)



前列左より山本監事、山森副会長、尾崎会長、伊藤副会長、築山監事。後列左より佐藤祐希理事(胆振地区)、日下博文理事(釧路地区)、工藤優介理事(松山地区)、黒澤隼人理事(留萌地区)
右上:太田大輔理事(根室)は都合により欠席

シークワードクイズ

7月のテーマ 「夏に咲く花」

マ	ス	リ	ナ	ツ	メ	シ
ク	イ	ベ	ン	テ	ン	ナ
ギ	ー	ラ	カ	ー	ド	チ
バ	ト	ケ	イ	ソ	ウ	ク
ツ	ピ	ゴ	ジ	ー	キ	リ
マ	ー	オ	ガ	サ	ア	ユ
ル	ア	リ	ダ	ワ	ク	ド

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。
抽選で5名様にクオカードをプレゼントします。

6月号の解答と当選者

タ	ナ	ク	ラ	シ	キ	イ
イ	○	○	○	○	○	○
オ	カ	ヤ	ヤ	サ	チ	フ
オ	キ	サ	ガ	ナ	ウ	ツ
ワ	カ	ミ	タ	マ	ホ	ク
フ	ヤ	エ	セ	ン	ク	バ
ギ	○	○	○	○	○	○

フジサン

神恵内村 マサちゃんさん
登別市 あーちゃんさん
苫小牧市 イニシャルY.Aさん
苫小牧市 Y. Mさん
浜中町 対馬 広子さん

7月は「夏に咲く花」がテーマです。夏の花は色も形もバリエーション豊かです。ガーデニング向きか、切り花向きか、水辺向きかで選ぶと使いやすいです。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| ☐ アオジソ | ☐ スイートピー |
| ☐ アサガオ | ☐ ダリア |
| ☐ ウド | ☐ トケイソウ |
| ☐ カラー | ☐ ナツメ |
| ☐ カンナ | ☐ ナンテン |
| ☐ キリ | ☐ バーベナ |
| ☐ クチナシ | ☐ マツバギク |
| ☐ クリ | ☐ ユリ |
| ☐ クワ | |

【ヒント】「聖母マリアの黄金の花」という意味を持つと言われています。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえろと答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

- リスト**
- ☐ アキアジ
 - ☐ コマイ
 - ☐ プリ
 - ☐ サンマ
 - ☐ コンブ
 - ☐ アサリ



ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	○	○	○
ジ	コ	マ	イ

【解答】サバ

間違いさがし

間違いは
5つです。

右と左の絵には、
5カ所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。

(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

今月の 浜の 家族物語

表紙に登場いただいた
ご家族を紹介いたします。

猿払村漁協

佐藤さんご家族



【佐藤さんご一家】佐藤 零士さん(38歳)、沙織さん(35歳)、百笑ちゃん(2歳)、亜香ちゃん(5カ月)

※写真は零士さんの父 将幸さん、母 明美さんと共に



猿払村で代々続く漁師の家系に生まれた零士さんは、その4代目にあたります。幼い頃から漁に出る父・将幸さんの背中を見て育ち、兄弟の中で男手が自分一人だったこともあり、自然と漁師の道を志すようになりました。

しかし、「社会勉強のために、もっと多くの人と関わった方がいい」という両親の勧めで、高校は地元を離れて札幌の学校へ進学し、寮生活を送ります。漁業とは全く関わりのない3年間でしたが、それでも漁師への想いは変わりませんでした。卒業後は鹿部町にある北海道立漁業研修所で総合研修課程を経て、19歳で本格的に漁師としてのキャリアをスタート。現在は春に毛ガニに漁、夏から秋にかけてはほたて漁に従事しています。

零士さんが所属する猿払村漁協のほたて漁は、「企業体」による共同経営体制をとっています。将来に向けて若手漁師をつかりと育成できるように、最初の数年間は様々な船に乗り込み、異なる親方や船頭から技術ややり方を学ぶ期間が設けられています。

零士さんも地元に戻ると、まずはこの制度の下で経験を積み、6年目から自身の船に乗るようになります。以降、父や他の乗組員からより一層実践的な技術や知識を学び、5年ほど前からは船頭として船を任される立場に。当初は海底の見えない岩場に網を引っかけてしまったこともあったそうです。漁師になって20年目を迎えた今も、常にトップの水揚げを誇る先輩船頭を目標に掲げ、効率よくほたてを獲得するための苦勞を重ねながら技術を磨いています。

猿払を代表する
船頭を目指して日々精進

そんな零士さんですが、私生活では妻の沙織さんとの間に2人のお子さんに恵まれ、賑やかな日々を送っています。長女の百笑ちゃんは毛ガニが好物で、ストライダーやリトミックなどを動かすことが大好き。次女の亜香ちゃんは、まだまだ甘えん坊の時期で、いつもご家族の笑顔の輪の中心です。

最後に、漁師としての目標を伺うと「まずは自分の体調管理。そして、周りの人にも怪我をさせないこと」と安全第一を強調しました。常に危険と隣り合わせの仕事という理由もありますが、自分が休めば船も休業となり仲間に迷惑をかけてしまうため、「絶対に怪我や病気をできない」と人一倍健康管理に気を配っています。

また、近年の海洋環境の変化については次のように語ってくれました。

「この数年、海水温の上昇によって海中で死んでしまうほたてが増加しており、一度の網入れで獲れる量が減っていると感じています。一方で、水揚げ量が減った分、ほたての取引価格はかつてないほど高騰しています。漁師としては嬉しい反面『高すぎて消費者が手軽に食べられなくなってしまうのではないかと複雑な思いもあります。今は厳しい時期ですが、なんとかみんなで協力して水揚げ量を増やしたい。漁師の収入を維持しつつ、もっと沢山の人が美味しいほたてを食べるよう、努力を続けていきます』

その言葉からは、力強い決意が感じられました。

もつと沢山の人が猿払の美味しい
ほたてを届けたい

編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様にクオカードをプレゼントします。

①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん7月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）

②11ページのシークワードの答え

③住所・氏名・年齢・電話番号

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、クオカード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

宛先

7月24日までに送ってください。

郵便

〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん
総務企画部 広報担当

●FAX 011-242-3543

●電子メール
info@gyoren.or.jp

11ページの間違えがしの答え



みなさんのお便りでつくるページです。

なみまる おたより箱

4年生ですー初めてクイズをやりました。むずかしかったけど、またやりたいです。

（苫小牧市）
イシヤルY・Aさん 9歳

ウニ漁が始まりますね
エプロン 長靴 準備万端です
今から楽しみです
（神恵内村）
マサちゃんさん 78歳

6月上旬とは思えない程の肌寒さでストーブをつけました。こんな年は初めてです。本当に盛暑はくるのだろつかと思っていたら徐々に忍び寄ってきてますね。7月からのナマコ漁に期待している今日この頃です。

（初山別村 白府美恵子さん 68歳）

6月中旬、札幌に初夏を告げる北海道神宮のお祭りがありました。最終日、大通り三越前の交差点では、おみこしと近くの町内会が競って参加する山車の数々が披露されました。見学して感じたことは、大勢の若い男女が参加していることです。どんな素晴らしい伝統行事もそれを伝えようとする先人の努力とその思いを受け止める若い力が必要です。以前から農業・漁業での後継者不足が心配されていますが、毎月届く「なみまるくん」に登場する浜の家族物語や青年部の出前授業、女性部の浜のおかあさん料理教室の記事を読むたびに、皆さんを応援したい気持ちでいっぱいになります。いよいよ、夏漁の本番。好天に恵まれ全道の浜が活気づくことを願っています。

（札幌市 なみまる通信員）



いつもシークワードクイズを楽しみにしています！最近暖かくなってきたので、海の近くで犬の散歩をしています！大きな貨物船や漁船が出港して行くのを見るのも楽しみです！

（苫小牧市 Y・Mさん 14歳）

編集後記

今年もぎょれんでは、5月1日からの1カ月間、「さつきラン&ウオーク企業対抗戦」に参加しました！スマートフォンアプリを使って走った距離や歩いた歩数で企業ごとに順位を競うイベントで、今年はフロンティアの部に19名、ウオーキングの部に25名が参加し、業種別フロンティア賞（官公庁・公社・団体の部）で全国3位、企業ベスト賞の2部門で表彰されたほか、平均距離を競う部門では、フロンティア・ウオーキングともに道内企業1位という輝かしい成績を収めることができました。

これからも職員一同、健康管理に注意を払い、日ごろから培った気力と体力で、浜の皆さまのために頑張ります！

（古村）

第63回胆振地区漁協女性部大会が登別で盛大に開催されました。その中の研修の環として私と古村が講師として呼ばれ、講演をしてきました。私からは「浜のおかあさん料理教室の今」と題して平成3年に始まった歴史からコロナ禍をへて新しい形になった料理教室についてお話をさせていただきました。古村からのぎょれん広報誌「なみまるくん」制作の舞台裏について取材時のこぼれ話などは、参加者の皆さんの取材時の思い出がよみがえったようでした。直接、現地の女性部の方々と交流する良い機会を頂いて感謝しています。さてJF北海道女性連の料理教室については今年で35年目となります。当初の「魚食普及」という目標は継続しながらも今は「食育」が重要な要素になっていきます。秋の教室に向けて動きはじめました。今年も浜のおかあさんと受講者の笑顔あふれる料理教室になる様、万全の準備で迎えたいと思います。

（藤江）

浜のほっと大漁祈願 ニュース



函館

6月1日からするめいか漁が解禁となりました。しかし、数量がまとまらなかったことから、6月11日が初セリとなりました。マスコミも駆けつけ、多くの注目を集めながら午前5時30分の鐘の音を合図に威勢よくセリが開始され、昨年を上回るK@12,000の高値がつきました。漁は夏から秋にかけて最盛期を迎え、年明け1月いっぱいまで続きます。多くの観光客の方々に味わって頂けるよう水揚げが回復することを待ち遠しく思います。

檜山

瀬棚・大成・熊石地区等にてひらめの水揚げが増えてきて、地元では「てっくい」と呼ばれるほど大きな口をした大型のひらめも上場され、注目を集めています。天ぷらや丼として親しまれ地域の貴重な水産資源となっています。今後、ますます水揚げが増え、浜が活気づくことを願っています。

日高

春定置網漁が終盤へと差し掛かっています。今年の漁模様は序盤に水揚げのまとまりがあったものの、5月下旬以降は鮭・鮭類・かいらい類ともに低調な水揚げで推移しています。浜では秋の定置網漁に向けての準備に加えて、7月から順次開始される昆布漁に向けて、磯掃除や干場整備が行われ、夏の気配が日に日に濃くなってまいりました。台風や高水温の影響がなく、一日でも多く天候に恵まれることを祈願しています。

釧路

日ごとに夏の気配が増し、季節の移ろいを感じる管内では、春定置網漁がシーズン終盤を迎えており、時鮭や青鮭は昨年を上回る水揚げとなっています。一方、6月から棹前昆布漁が開始されましたが、天候の悪い日が多く、出漁できない日々が続いています。好天に恵まれ豊漁となることを期待するとともに、安全操業を祈っています。

北見

7月に入り、オホーツク地区にもようやく夏らしい暖かな日差しが照り付いています。ほたて漁が最盛期を迎え、たこ漁も本格化するなど、浜は益々の賑わいを見せています。夏漁の本格化を控え、今後浜はより一層忙しさの増す時期ではありますが、益々の豊漁と引き続きの安全操業を、心より祈念しています。

稚内

夏が近づき、ようやく暖かさを感じられるようになりました。オホーツク地域では、ほたての水揚げが本格化し、利礼地区では、うに・夏なまこ漁が最盛期を迎え、浜はより一層賑わいを見せています。今月より昆布漁も開始となるので天候に恵まれ、安全操業で豊漁を願っています。

小樽

4月26日から始まったこうご漁は、昨年度と同様に水揚げが少ない状況が続いたまま、6月5日をもって終漁となりました。一方、6月上旬よりうに・なまこ漁が各地で本格的に解禁となりました。資源の減少により、昨年度と比べてうにの数量は約20%減少しましたが、価格は約30%上昇しています。漁期終漁まで安全操業で、順調に水揚げが纏まっていくことを祈念しています。

室蘭

春定置網漁は終盤を迎え、最近では、ぶり、ひらめなどの姿も増えてきました。6月中旬からは噴火湾地区の毛がに鰻漁が解禁になりました。昨年と比べて解禁直後から好漁が続く、今後のさらなる水揚げにも期待が高まっています。7月からはほっき魚と太平洋地区の毛がに鰻漁が解禁となり、一層の活況が期待されます。今後の豊漁を願うとともに、生産者の方々の安全操業を祈願します。

根室

6月1日に貝殻棹前昆布漁の操業が解禁となりました。天候にも恵まれ、181隻の漁船が、納沙布岬より朝7時、一斉に漁場を目指して出漁いたしました。一方、6月15日には野付湾にて北海道遺産に登録されている打瀬船での北海しまえび漁が始まりました。活きの良いしまえびが水揚げされ、また忙しい夏が始まってきたと実感しています。皆様の安全操業と大漁になることを祈願しています。

留萌

3月下旬から始まったほたて稚貝の出荷は、中盤やや時化が続き、足踏みしたもの、6月上旬に全ての地区で出荷を終え、数量・金額ともに昨年度から大きな回復を見せました。一方、ひらめ漁は最盛期を迎え、6月中・下旬から各地でうに、なまこ漁が始まりました。気候も次第に夏めいてきましたが、熱中症対策に余念なく、皆様が安全操業で、大漁となることを心より祈念しています。

仲間のヒヤリは皆のリスク 皆で作ろう 安全操業

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター



材料 4人分

ほたて…… 1人5個×4人分
 塩こしょう…………… 4g
 薄力粉…………… 36g
 小ねぎ…………… 1本
 しいたけ…………… 6個
 バター…………… 10g
 米…………… 2合半(固めに炊く)

A

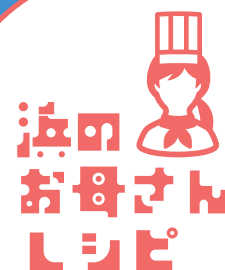
バター…………… 10g
 油…………… 大さじ1

タレ

みりん…………… 大さじ3
 醤油…………… 大さじ2
 オイスターソース…………… 大さじ1
 砂糖…………… 小さじ1

作り方

- ① ほたては2枚に開き、塩こしょうを軽くして10分おく。
- ② 出てきた水分をペーパーで押さえ、薄力粉をまぶす。
- ③ 小ねぎは小口切りにする。しいたけは石づきを切り、縦4つに切る。
- ④ タレの材料を合わせておく。
- ⑤ フライパンにAを入れ、ほたてを入れて焼き色が付いたら、いったん取り出す。
- ⑥ ⑤のフライパンにバター10gを加えて、しいたけを炒め、火が通ったらほたてを戻して、④のタレを流し入れ、沸騰させ照りが出るまで加熱する。
- ⑦ 炊きあがったご飯の上に⑥のをのせ、フライパンに残ったタレをかけて、小ねぎを飾ったら出来上がり。



ほたて井

今回は「ほたて井」をご紹介します。
 一見シンプルですが、甘辛たれとバター風味が
 食欲をそそります。

令和7年10月11日開催、第151回「浜のおかあさん料理教室」
 in 札幌開成中等教育学校にて紹介しました。



常呂漁協

川口 睦子さん